

# 峰のひかり

発行人  
 社会福祉法人 七峰会  
 理事長 奥田 稔  
 〒036-8356  
 青森県弘前市大字下白銀町21-8  
 電話 (0172)33-8861  
 FAX (0172)33-8862

真剣な眼差し...



初めての銅線切りに挑戦!!

## 第4回自閉症児就労訓練

「できたよー! ぼく、  
 がんばった!」  
 ～一般就労を目指して～

知的障害者更生施設

拓心館

夏休みと冬休みを利用して行っている自閉症児就労訓練は平成18年度から始まり、今回で4回目となりました。この訓練は、働く為に必要なことを在学中から少しずつ身につけていくことを目的としています。この冬は平成20年1月7日から11日までの5日間で行われ、参加者は養護学校の中等部と高等部に在籍している自閉症という障がいがある5名の方達です。

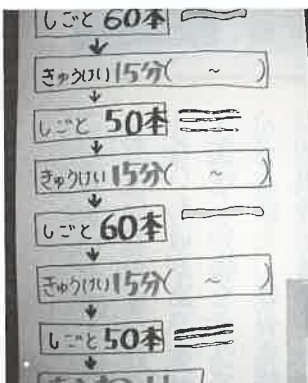
電卓は休憩時間のお楽しみ♪



この訓練では、働くことに対して、参加者に良いイメージを持つてもらおうというのを大切にしています。その為には、ひとりひとりの障がい特性をよく理解し、それに合った働きやすい環境を整えることが大切です。働きやすい環境の中で、給料を貰う喜びや、仕事の達成感を感じてもらい、卒業後の移行がよりスムーズなものになればと思います。

訓練中のひとこまです。今回は銅線のビニールむき作業を行ってもらったのですが、なかなかうまくむけないビニールに取り組んでいたある参加者さん、時間をかけてようやくむき終えることができた時、「できたよー! ぼく、がんばった!」の言葉と満面の笑顔。その言葉と笑顔の中に、たっぷりの達成感と充実感を感じました。

一日の流れを示すスケジュールです。



画用紙で作った時計▶ 終了時間の確認に使いました。



地域活動支援センター  
**がんばってます!**  
**『山郷館』**  
**キャンパス**

身体障害者  
 療護施設  
**山郷館**

昨年5月のオープンから8ヶ月経過しました。黒石市を中心に、身体・知的・精神に障がいのある方々11名が利用し、日中活動や地域との交流を活発に行ってきました。現在、実施している内容は、生産活動として、

- ①洗濯物の集配・仕分け・たたみ
- ②Tシャツなどの簡単な縫製へ向けて、裁断やミシン縫いの練習(春からは菜園活動も予定)
- ③創作活動としてのアンデルセン手芸やステンドグラスの作成
- ④社会適応訓練のひとつとしてパソコンによる広報誌「スケッチ」作成などを行っています。



いずれの内容も皆さん張り切っ  
 て参加しています。洗濯たたみは、  
 しつかりとした仕事内容で、一部  
 工賃も出せるようになりました。  
 何よりも欠かせないことは、地  
 域の皆さんとの交流と理解が深  
 まっていることです。近隣作業所  
 等と行事での展示即売、地域住民  
 との「芋煮会」や「新春餅つき大  
 会」など、いずれも地元町会を中  
 心に多くの方の参加がありました。  
 日々、励ましの声をかけていただ  
 く機会も増えてきました。当セン  
 ターは、地域が活動の基盤です。  
 これからも地  
 域の皆さんと利  
 用者の交流を深  
 めながら、共に  
 歩むセンターと  
 して頑張っ  
 てま  
 いります。



**うまいものまつり**

特別養護  
 老人ホーム  
**サンアップル**  
 ホーム

平成20年2月10日(日)特別養  
 護老人ホームサンアップルホーム  
 では、毎年恒例の「うまいものま  
 つり」が行われました。この行事  
 は、毎年2月に、利用者ご家族  
 様、サンアップルホーム職員が、  
 美味しい物を一緒に食べて交流を  
 深めましょうという趣旨で、20年  
 続いている行事です。

メニューについては、冬場であ  
 ることから、10年前から鍋物がメ  
 インとなりました。寄せ鍋、たら  
 鍋、きりたんぼ鍋、ちゃんこ鍋、  
 色々工夫をしてみました。好評  
 なのは蟹鍋でしたので、今年も大  
 きなタラバ蟹を用意しました。鍋  
 からはみ出すほどの蟹に普段は少  
 食の方も食がすすんでいたよう  
 でした。蟹の殻むきを担当した職員  
 は、自然と無口にな。鍋の熱なの  
 か、人の熱なのか、ホームの気温  
 は、いつもより少々高め。外の寒  
 さを忘れるくらいでした。

味についても、上々。というの  
 も、今年度の冬期間から、ひと月  
 に2回、お昼に鍋の日を設定した



こともあり、回を重ねての本番  
 「うまいものまつり」は、美味し  
 くないわけがありません。  
 美味しい物を食べて、家族とた  
 くさん話し、職員と笑い、いい顔  
 の利用者がたくさんいました。長  
 生きの秘訣は、美味しい物を美味  
 しいと食べることに、楽しいことを  
 楽しいと喜ぶこと。サンアップル  
 ホームのお年寄りには、まだまだ元  
 氣、これからです。



**冬休みの  
思い出作り**  
知的障害者  
更生施設  
**拓光園**

『拓光園障害児デイサービスセンター』は、今年の冬休み期間中も15名の定員一杯の利用があり、大賑わいの毎日でした。例年冬休み期間は、ソリ遊び、クリスマス会、新春お楽しみ会など様々なイベントを催して楽しんで頂いています。今年も、今年も弘前福祉短期大学の学生の皆さん、27人が4グループに分かれ、レクリエーション支援ボランティアのため、4回に渡り園を訪れてくれました。障がいを持つ子供たちと接する機会を設け、理解を深め、共に楽しめる活動や体験をしたいという彼らの想いがきっかけで行われました。

学生の皆さんが自ら考えたレクリエーションの内容は、アンパンマン福笑い、ボーリング大会、ペットボトルでの雪だるま作り、戸外での雪だるま作りと各グループで趣向を凝らし、楽しそうな内容で、子供たちも興味を持って参加していました。

2年生の学生の方は「自分たちが考えたゲームに参加してくれる

かどうか不安でしたが、子供たちから話しかけてくれて一気に緊張もほぐれ、すぐに溶け込むことができました。短い間でしたが、とても楽しいひと時を過ごすことができました。」と話していました。子どもたちの可愛さと一生懸命さに一層になって楽しみ、あつという間の2時間だったようです。



学生の皆さん、楽しい企画ありがとうございました。利用している子供たちにとっても皆さんと触れ合う事で普段とは違う楽しさを味わえたことと思います。

『拓光園障害児デイサービスセンター』はこれからも多くの方に協力して頂きながら子供たちに楽しい時間を提供していきたいと考えています。

**生活を豊かに：  
趣味**  
社会就労  
センター  
**旭光園**

旭光園にはいろいろな趣味をお持ちの方がおります。日頃作業中心の生活ですが趣味を持つことで気持ちのリフレッシュ出来ているようです。長く続けられる趣味を見つけては難しいことですが、ひとつの趣味を続け「その道を極めよう?」としている方を紹介します。

— 陶芸教室 —

毎月2回平川市社会福祉協議会が主催する陶芸教室に6名の方が参加され陶芸の腕を磨いています。9年前から参加しているAさんは、「最初は何を創るにも戸惑いを感じました

が先生の手ほどきを受け次々作品が創れるようになり、ものを創ることの面白さを感じてい



ます。会に参加することで自分も元気で頑張りたいという意欲も出てきました。」と自慢の作品を見せながら話してくれました。

— 編み物 —

編み物が得意なBさんは、余暇時間に手馴れた様子で編み進めています。小学生の頃、初めて母から編み物を教わって以来、編み物の奥深さに興味を持ち編み物教室に通ったり本を購入し技能を修得してきました。今でも納得いく作品に仕上げようと日々努力しております。Bさんは編み物について「一本の毛糸から一針一針編んでいくと何もないところから自分の作品が目に見えて生まれてくるところに魅力があります。ひたすら編むという単純作業ですが仕事のことを忘れ無心にさせてくれます。日々の生活の中で仕事と趣味のバランスが取れて毎日が充実しています。」と話しています。

この他にも様々な趣味活動を通して学んでいる方がおります。どんなことでも、どんな形であっても楽しく学ぶ「生涯学習」活動は日々の生活の中で元気と活力の源になっているように感じます。

# いわせて ネット

『就労サポートひろさき』も、平成19年5月に開所して早や10カ月が経ちました。一般就労を希望して就労サポートひろさきを利用していただけた方々も全部で31名になりました。当初は通所前期の訓練として基礎体力の向上、労働習慣の習得、作業の集中力や持続性をめざして取り組みました。現在は、通所中期の実践的訓練として、求職活動や職場実習を組み入れながら社会体験を深めている時期です。

その中から一般就労に移した方も9名おりそのうち6名が職場定着支援を受けながら働き続けております。

今回は、その中から老人保健施設の清掃に昨年7月から採用され、生き生きと働いている方の声を御紹介いたします。

## 頑張らないとダメだ 蝦名 秀子

『就労サポートひろさき』を利用して3カ月が過ぎようとしていたある日、職員が私に合いそうな仕事を探

して来てくれました。この仕事に興味ある？ やってみたい？と聞かれすぐに「はい」と答えました。当日の面接の日はとても緊張しました。数日が過ぎ採用が分かった時はこれから一生懸命に頑張らないとダメだと思いました。

仕事が決まりいざ働くとなると緊張する毎日が続きました。最初は緊張しているの、人と接するのが恥ずかしく挨拶もきちんと出来ませんでした。ジョブコーチより「挨拶は大事だから大きな声ではっきりと言わなければならぬですよ」と言われました。それでこれではダメだと思い、思いきって大きくハキハキした声で挨拶をするようになりました。

私の行なっている作業は掃除の作業を主にしています。半年過ぎた今は、掃除の仕方も大分慣れて毎日仕事を楽しみ、仕事に行くのも義に過ぎて充実した日々を送っています。

### 七峰会後援会コーナー

## 七峰会後援会定時総会 開催される

平成二十年七峰会後援会定時総会は二月二十日ぐりの要にて、会員百三十六名の出席により開催されました。議案審議は竹内誠三副会長が議長を務め、

- 一、平成十九年度事業報告並びに収支決算の承認をを求める件
- 二、平成二十年事業計画(案)並びに収支予算(案)の審議決定を求める件

について満場一致で可決されました。尚、平成二十年度の七峰会経営施設見学研修は平川市の旭光園が今春から始める新作業種精米と納豆製造の見学、又、黒石市の旧保健所を地域障害者の支援拠点として山郷館が、活動を開始するサポートくろいしの見学をし、盛美園、もてなしロマン館のコースで秋に実施する事になりましたので、会員皆様のご参加をお待ち致しています。

#### 住宅介護 支援事業

山郷館居宅介護支援センター  
TEL 97-29441

サンアップル居宅介護支援センター  
TEL 97-21331

サンアップルホーム  
TEL 97-21111

サンアップル短期入所生活介護センター  
サンアップルホームデイサービスセンター  
サンアップルヘルパーセンター  
TEL 97-37558

認知症グループホームアムツベル  
認知症デイサービスセンター  
TEL 97-27778

サポートセンターわかば  
弘前市大字若菜2丁目15  
TEL 97-2013

認知症グループホームわかば  
デイサービスセンターわかば  
サンアップル在宅介護支援センター  
TEL 97-21331

#### 特別養護老人ホーム

山郷館  
TEL 97-22111

山郷館 短期入所事業  
山郷館デイサービスセンター  
山郷館アサヒサービスセンター  
山郷館ダイサービスセンター  
山郷館地域活動支援センター  
山郷館訪問介護センター  
山郷館訪問介護センター  
TEL 57-5155

旭 通所他障害利用事業  
旭光園身体障害者短期入所事業  
福祉ホーム さくら  
TEL 57-5155

心 グループホーム ケアホーム  
生活自立訓練事業  
就労サポートひろさき  
学  
TEL 82-45220

拓 通所利用事業  
拓光園短期入所支援センター  
拓光園障害児デイサービスセンター  
日中一時支援事業所  
共同生活介護事業所  
TEL 96-23331

#### 障害者支援

(主に知的)

拓 拓光園短期入所支援センター  
拓光園障害児デイサービスセンター  
日中一時支援事業所  
共同生活介護事業所

(主に身体)

山郷館  
山郷館 短期入所事業  
山郷館デイサービスセンター  
山郷館アサヒサービスセンター  
山郷館ダイサービスセンター  
山郷館地域活動支援センター  
山郷館訪問介護センター  
山郷館訪問介護センター  
TEL 57-5155

拓 拓光園短期入所支援センター  
拓光園障害児デイサービスセンター  
日中一時支援事業所  
共同生活介護事業所  
TEL 96-23331

#### 総合支援

青森県指定 津軽障害者就業・生活支援センター  
TEL 82-45220

弘前市障害者生活支援センター  
TEL 31-2400

弘前市北部地域包括支援センター  
TEL 95-21100